

【B】 15. 特定運転者への特別指導

事業者は、特定の運転者（初任運転者・高齢運転者・事故惹起運転者）に対し、交通事故の未然防止を図るため、よりきめ細かな指導を実施する必要があります。
特定の運転者を対象とした特別指導の内容は下表のとおりです。

| 種類 | 受診時期 | 指導内容 | 時間 |
|-------|--|--|-----------------------------------|
| 初任運転者 | 初めて事業用自動車に乗務する前 (やむを得ない場合は、 乗務を開始した後1ヵ月以内) | 1. 一般的な指導及び監督内容 運転の心構え、車両の構造上の特徴、貨物の積載方法などや車両管理、健康管理等 | 15時間以上 |
| | | 2. 安全運転の実技 | 20時間以上 |
| 高齢運転者 | 適齢診断結果後1ヵ月以内 | 適齢診断結果を踏まえた身体機能の変化、安全運転方法など | |
| 事故惹起者 | 事故を引き起こした後、 再度トラックに乗務する前 (やむを得ない場合は 乗務を開始した後1ヵ月以内) 注) 外部専門的機関による 指導講習の場合の期限は適用外 | 事故事例の分析、再発防止対策や危険予測及び回避などの座学及び安全運転実技 | 座学合計 6時間以上 (実技は可能な限り 実施) |

| 乗務員教育記録簿 | | | |
|--|-------------------------------|-----------------------|-----|
| 指導教育の種類と内容 (国土交通大臣令第136号) | 年 月 日 () 時 ~ 時 | | |
| (一般の運転者に対する指導) | 場所 | 実施者 | |
| 1. トラックを運転する場合の心構え | 教育の種類 | □一般 □初任者 □高齢者 □事故惹起者 | |
| 2. トラックの運行の安全を確保するために遵守すべき基本的事項 | | □運行管理者の補助者 □整備管理者の補助者 | |
| 3. トラックの構造上の特性 | 教育内容～教育に使用したテキスト等を添付又は保存すること。 | | |
| 4. 貨物の正しい積載方法 | | | |
| 5. 過積載の危険性 | | | |
| 6. 危険物を運搬する場合に留意すべき事項 | | | |
| 7. 適切な運行の経路及び当該経路における道路交通の状況 | | | |
| 8. 危険の予測及び回避 | | | |
| 9. 運転者の運転適性に応じた安全運転 | | | |
| 10. 交通事故に関する運転者の生理的及び心理的変化及びこれらへの対応方法 | | | |
| 11. 健康管理の重要性 | | | |
| 12. 安全性の向上を図るための措置を講ずる事業用自動車の適切な運転方法 | | | |
| ※上記12項目及び下記その他必要項目を1回実施すること。 | | | |
| (その他の必要な指導項目) | | | |
| 酒酔い運転、酒気帯び運転、過労運転、薬物等使用運転、過積載運転、危険物積載違反、最高速度違反、無免許運転、無資格運転 | 氏 名 | コ メ ン ト | 備 考 |
| (初任運転者の特別指導の内容) | | | |
| 1. 一般の運転者に対する指導の12項目 | | | |
| 2. 安全運転の実技 | | | |
| ※上記1(一般の運転者に対する指導)の指導する場合において、2. の36日定例検定に関する事項、3. の25年検定、26年検定、27年検定及び28年検定に関する事項、4. の25年検定の積載方法及び運搬方法に関する事項については、実技を用いて指導すること。 | | | |
| ※上記1. を15時間以上実施すること。 | | | |
| ※上記2. を20時間以上実施すること。 | | | |

※特定の運転者

- ・**初任運転者**: 新たに雇入れられた者。ただし、初めてトラックに業務する前3年間に、貨物自動車運送事業者の運転者として常時選任されたことがある者は除く。
- ・**高齢運転者**: 65歳以上の運転者
- ・**事故惹起運転者**: 死亡、重傷事故を引き起こした運転者

※新たに雇入れた者については、指導前に運転経歴証明書等により雇入れ前の事故歴を把握し、事故惹起運転者に該当するか否かを確認する必要があります(P16参照)。

【チェックポイント】

○初任運転者への指導

- ・指導が必要な運転者はいますか？ ☐
- ・初めて乗務する前(やむを得ない場合は乗務開始後1ヶ月以内)に実施していますか？ ☐

○高齢運転者への指導

- ・指導が必要となる、今年65歳になる運転者はいますか？ ☐
- ・適性診断(適齢診断)の結果を踏まえた指導を、1ヶ月以内に実施していますか？ ☐

○事故惹起者への指導

- ・事故惹起者がいる場合、事故を引き起こした後、再度トラックに業務する前(やむを得ない場合は業務を開始した後1ヶ月以内)に実施していますか？ ☐
- 指導記録簿を作成し、3年間保存していますか？ ☐

※特定運転者に該当する者がいない場合は「該当しない」

※特定運転者への「適性診断」と「特別指導」については、P47～48の参考資料を参照

項目判定

- ☐ 適 ☐ 否
☐ 該当しない